

新風

SHINPU

前川おさむ後援会会報

Vol 5 号

平成5年2月

3期目を目指す所信表明

明けましておめでとございます。

すこしおそい御挨拶であります。平成5年が皆様にとって幸せ多き年であることを、御祈念申し上げます。

さて、今年には菊池市議会議員の通常選挙の年であります。予定では2月28日告示、3月7日投票日ということで、この「新風」が皆様の御家庭へ届くころは、おそらく本市も選挙一色になっているかと思えます。わたしも立候補をするわけでありませんが、わたしにとって3期目の今回の選挙に立候補するにあたり、その所信を述べたいと思えます。

まず選挙戦に臨む基本的な考え方でありませんが、これまでの本市の選挙のやり方は、ややもすれば候補者のもつ考え方や政策よりも、いわゆる地域性というものが重要視されてきました。もちろん地域の代表として地域住民の意見を代弁することも、議員の重要な仕事でありますし、そのことを否定する訳ではありませんが、一週間の選挙戦でただ名前の連呼だけを繰り返しても意味がないと思えます。わたしはこれまでの2回の選挙でも、必ずすべての地域で、自分の考え方や政策を訴えてきました。たとえその地区に一人も支持者がいなくても、また一人も外に出て話を聞いてくれる人がいなくても、自分の政策を述べることは候補者の一番大切な義務であると思うからであります。今回の選挙戦でも一人でも多くの人にわたしの考えと政策を聞いていただく為に、市内をくまなく回りたいと思



愛郷無限 前川 収

ます。

また、わたしは現在、自由民主党熊本県連の青年部長を務めております。近年、リクルートや佐川急便事件などで大変な政治不信を招いている自民党であります。党内にあって青年部は、常に政治浄化と政治改革を訴えてまいりました。

現在の状況で自民党を名乗ることが、わたしにとって決してプラスではないと思えますが、今回の選挙にわたしは自民党公認で出馬したいと思えます。自らの選挙をお金のかからないクリーンな選挙で戦うことにより、党の信頼回復と、政治浄化に務めたいと思うからであります。現在の政治不信は、決して国政レベルのみの問題ではなく、地方議会の議員も自らの問題として取り組む課題であると考えております。

次に、政策についてであります。今回の選挙のキャッチフレーズを「頑張れ菊池、市民が郷土の応援団」にしたかと思えます。「頑張れ菊池」の意味は、読んで字のごとくであります。現状の菊池市では人口でも、近隣の天津、菊陽、合志、西合志に追い越されそうであり、財政的に見ても、三割自治からの脱却、又近隣地域の中心都市としての求心力すら薄れているというように、たくさんの重要な課題を抱えています。21世紀を目前にして、今が頑張るところであろうかと思いついて、この言葉にしました。

「市民が郷土の応援団」とは、これも説明の必要はないと思えますが、先に述べました色いろな課題を解決しようとするとき、すべてにおいて、市民の協力がなければなにもできないということでもあります。「地域づくり」の基本は、住民パワーの結集にあると思えます。我々の郷土「菊池」は我々の知恵と汗で創っていきましよう。

最後に、わたしは平成元年の9月定例会で市民広場とシンボル像の建設を提言いたしました。豊かな自然や、古い歴史、伝統の残る菊池市がわたしは大好きです。武光公の銅像は、郷土を愛する市民の心と、未来へ飛躍する本市の姿であることを確信いたしております。

「市民が市民であることに、誇りを持てる郷土菊池」を目指して。

民が郷土の応援団



自民党青年部長として知事講演会の主催者挨拶

1、人口増加対策

本市の人口は、約2万8千人です。おそらくこのままでは数年後に、郡内の4町（大津、菊陽、合志、西合志）に人口が追い越されてしまうでしょう。

第3次菊池市総合計画（目標年次平成12年）では、人口3万人の目標を設定しておりますが、今から何らかの施策を行わないと、21世紀までに間に合いません。正に今「頑張り」時と考えております。

△具体的な目標▽

- ・行政主導型の住宅団地の造成
- ・テクノポリス計画のモデル団地の誘致
- ・市内全域にわたる、快適住環境の整備

2、福祉政策

本市の高齢化率は約20%です。老人福祉の基本は在宅福祉であると考えております。

高齢者や身障者の皆様が、安心して生活できるような、社会資本の充実こそが本市の魅力ある郷土づくりであり、そのことが本市の人口増加にも大きな役割を果たします。高齢者や身障者の皆様の安心感が、市民の生活水準のパロメーターとしてとらえ、その充実に努めます。

△具体的な目標▽

- ・在宅福祉の充実
自宅で家族と共に生活できる環境づくり
- ・地域ボランティアの育成
福祉の基本はボランティアです。地域単位でのボランティアの育成に努めます。

3、文化、教育、環境政策

郷土づくりは人づくり、人づくりは教育であり、本市の豊かな自然と伝統文化は、人づくりに活かされる大事な要素だと考えております。

本市に残る古い歴史や伝統文化を次の世代へ継承することは、われわれの大切な義務であり、豊かな自然は本市だけの財産ではなく、地球的視野からも人類の大事な宝物であると考えその保全に努めます。

△具体的な目標▽

市 菊池！ がんばれ

・文教菊池の再現

学業だけではなく、豊かな人間教育が出来るような環境整備に努めます。

・伝統文化の継承、創出

各地域に残る芸能や文化は現在、後継者不足に悩んでおります。歴史的に見ても芸術や文化を育成するには、それを物心両面で支える事が必要です。行政だけに頼らない、市民による文化支援団体の設立を目指します。

4、農業・工業・商業・

観光の基盤整備

わたしは、地方自治体の最も重要な仕事は、「市民が災害や事故などにあわない安全で健康的な生活環境を作ることと、市民が安定した生活を送れるような経済基盤を作ること」と考えております。

市民生活の源となる経済の確立は、本市の財政にも大きく関連する重要な問題であり、市民の豊かな生活の実現の為に努力をしております。

▲具体的な目標▼

・農業政策

農業問題は安全保障と並ぶ、国の最も重要な課題であると考えます。

農業の生産基盤の整備はもちろんですが、農産物の流通や市場性まで視野にいたれた具体的な農家所得の向上の為に努力します。

・工業政策

市民の雇用の場の確保と若者の流出防止という観点から、人口問題と関連する課題として、豊かな自然環境と調和のとれた優良企業の誘致と、既存企業の育成に努めます。

・商業政策

わたしは、「地域中心都市における市街地の活性化―菊池市の場合」という論文を書きました。

その中で市街地、商店街は、本市のような近隣地域の中心都市において、その求心力となる重要な社会資本であると説いております。

市街地の活性化について土地区画整理事業と特定商業整備法を活用して、本市の歴史、伝統を生かした個性豊かな街づくり、単に商業者の為だけの施策ではなく、本市が地域中心都市として生き残る為の最重要課題として取り組みます。

・観光政策

観光はすでに本市の基幹産業のひとつになっております。

現在の「泊宴会型、通過型の観光地から、古い歴史や自然環境を活かした滞在型の観光地を目指し、観光と農業、観光と商業の経済的結合を図り、観光客は、市民の大事なお客様として、その基盤整備に努めます。



前川おさむプロフィール

●生年月日/昭和35年7月9日

●血液型/O型

●経歴/県立鹿本高校 昭和54年卒業、九州測量専門学校土木建設科 昭和56年卒業、平成4年カリフォルニアコースト大学経営学部卒業、東海測量設計社 昭和56年入社 昭和59年 退社、株式会社ゴルフセンター 昭和59年 創立、菊池市議会議員 昭和63年 初当選(1期)、菊池市議会議員平成元年当選(2期)

●主な役職/菊池市文教厚生常任副委員長

自由民主党熊本県連青年部長

菊池市商工会理事

菊池市商工会青年部理事

菊池青年会議所監事

熊本県防衛協会青年部菊池支部長

後援会より お知らせ

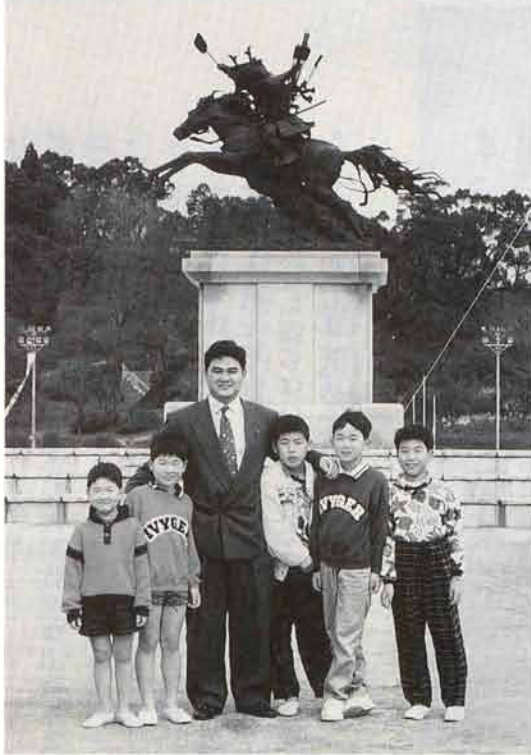
残寒きびしき折柄、皆様には増々御祥栄のことと、お慶び申し上げます。

さて、いよいよ市議会議員選挙も間近になってまいりました。後援会としても前川收の三期目の当選を期して、日夜努力を重ねておりますが、なお不安な毎日でございます。

皆様のご協力をよろしく御願いたします。

前川收の活動内容や、考えをお知らせするために発行しておりますこの後援会報「新風」も今回で第五号となりました。

一人でも多くの皆様に読んでいただきたいと考えております。知人や友人のかたで「新風」が届いてなく、前川收をご支援いただいているかたがいらっしゃ



たら、ぜひご紹介ください、すぐにお届けいたします。

尚、今回の選挙の出陣式の日程が決まりましたのでお知らせいたします。

御多忙中と存じますが、御時間がとれるかたは、御出席いただきますよう御願ひ申し上げます。

又、後援会の仮設事務所が出来ました。お近くへおいでの節は、ぜひお寄りください。皆様のおいでをお待ちいたしております。

出陣式の御案内

一、日時 平成5年2月28日(日曜日)
午前9時

一、場所 北宮神社

(尚、午前十時より上町伊勢神宮前で
第一声の遊説を開始します。)



前川おさむ後援会

仮設事務所 〒861-13
菊池市片角119-2
TEL 0968・24・0471

自宅 〒861-13
菊池市片角119-2
TEL 0968・24・0471

【後援会仮設事務所案内図】

